

中学生の文化スポーツ活動体制整備基本方針策定に係る説明会報告

- 1 日 時 11月25日(月)～12月11日(水)各地区1時間程度
- 2 場 所 市内6学校区(地域交流センター等)
- 3 参加者 小中学生の保護者、文化・スポーツ活動指導者、地域住民等

校 区	場 所	参加人数
竜王中校区	赤崎地域交流センター	20人
小野田中校区	市民館	19人
高千帆中校区	高千帆中学校	58人
厚陽中校区	厚陽地域交流センター	6人
厚狭中校区	厚狭地域交流センター	30人
埴生中校区	埴生地域交流センター	9人

4 内 容

- ・中学生の文化スポーツ活動体制整備基本方針の説明
- ・協議会の開催状況及び今後のスケジュールについて
- ・質疑応答

5 参加者からの意見(※主なもの)

<地域クラブについて>

- 地域部活動になると、現状の部活動数は減る可能性があるのか。
- 休日の活動を廃止した場合、各学校の部活動を実施団体が引き受けられる可能性は高いのか。
- 減少した活動は学校が補うのか。
- 新規の活動を立ち上げることはあるか。
- 今現在でどのくらいの地域クラブができそうか。
- 競技ごとの推進状況について示してほしい。
- 現在の競技人口を加味して考えてほしい。
- 新しくクラブを立ち上げた場合、行政がPRに関わってもらえるのか。
- 平日は学校で部活、休日は地域クラブとなると、どういうチームで試合に出るのか。
- 強い子はクラブチーム、そうでない子は学校に残るようなことが起こるのではないか。
- 地域クラブに通えない子はどうするか。体験格差が広がるのではないか。
- 山陽小野田市において、現在中体連加盟の地域クラブは何チームあるか。
- 宇部市は、地域クラブが山陽小野田の3.5倍あるが、この差はなんでついたのか。
- 具体的な提案がないと地域クラブの受け皿として手をあげろと言われても、あげようがない。
- クラブチームと地域クラブの見極め等、保護者がわかるような形になるのか。

<活動日・活動時間について>

- 他市では、一気に部活動がなくなっている。今後はどうなるのか。
- 国の意向としては、平日の移行も進んでいくと聞いているが、市独自の取組があるのか。
- 男子バレーが休日の活動を行っていると聞いているが、平日はどうなっているのか。
- 平日の部活動は存続するのか。
- テスト週間中の地域クラブの活動はどうなるのか。

<移動について>

- 活動場所までの移動については自転車となるのか。
- 移動が必要になるときは移動手段についてどう考えているのか。
- スクールバスを活用するなど考えがあるか。周南などのようにバスの確保を考えてほしい。
- 移動に係る安全対策に気を付けてほしい。
- 週末の移動について、理科大の学生が通学のためのバス利用が無料のように、中学生も同様の対応ができないか。

＜活動場所＞

- 市内の体育施設が限られている中で、活動場所はどうなるのか。
- 地域クラブに対して活動場所の優遇はできるのか。
- 学校施設を現在使っている社会人チームなどから、優先利用の了承は得られるのか。
- 体育施設について、地域移行によって環境を良くしていく（整備していく）考えか。
- 施設について陸上の施設が充実しているとは言えない。屋外照明など施設整備はしてもらえるか。
- 活動場所としての拠点施設の設定はどうやって決めていくのか。

＜指導者＞

- 指導者の定義はどうなるのか。先生だから安心があったが、地域の指導者について、どのような資格を必要とするのか。
- 子どもたちはいい指導者を望む。市内に指導者がいない場合、その結果として市外での活動を選択する生徒が出てくるのではないか。
- まずは休日の移行ということだが、平日と休日の指導の一貫性が取れるのか心配している。できれば同時移行ができるといいのではないか。
- 教員の手はあがらなくなるだろう。平日は学校、休日は他の指導者、教員のモチベーションが上がらない。
- 土日の大会引率についてはどうなるのか。先生も引率するのか。
- 兼職兼業の条件について、周知をしてほしい。
- 教職員が地域クラブで指導する際のスムーズな手続きを確保してほしい。
- 結局は、教師への特殊勤務手当か兼職兼業で実施するかになるのではないか。
- スポ少はほぼボランティアでやっているが、今後、地域クラブ化したときに、指導者等への謝金が発生しないと持続可能な活動にならないのではないか。

＜会費・経費等＞

- 地域クラブになったときに、どの位の会費を想定しているのか。
- 新規のクラブチームに入るとなると会場費など、お金がかかると思うが、補助が出るのか。
- 子どもが多く習い事が習わせられない。中学校に入ること、やっと習い事ができるようになった。今後、クラブチームになったときに習わせられなくなる。
- クラブチームと地域クラブの会費金額の差などはまさに格差ではないか。
- 子どもが中学1年生で運動部に所属しており、ルール上同じものをということでユニフォームを買い揃えているが、「〇〇中学校〇〇部」ではなくなった場合、ユニフォームは使えるのか。
- 学校の道具などは使用できるのか。自分で購入した道具は使えるのか。
- 独立採算とするならば、保護者の負担は多くなる。
- 最後は受益者負担になる。結局はお金の問題となるのではないか。
- 結局お金がかかる。それだけ山陽小野田市は出せるのか。

＜連絡体制＞

- 子どもの立場に立った時に、練習時間の変更や中止の連絡はどのように行われるのか。
- 自分の子どもが、本当に活動場所についているのか気になる。出欠確認のできる方法を考えてもらいたい。

＜教育的意義＞

- 部活動が持っていた教育的意義の衰退に対して危機感がある。
- 移行の裏で、部活をやらない子の扱いについて考える必要がある。
- 部活がなくなったときに、学校が終わったら何をするのか。危ないことが想定される。
- 地域クラブに通えない子ども（家庭）に対してどう支援していくのか。

＜学校との連携＞

- 学校部活動を来年度どうするか。
- 地域移行が完全に行われるまでは、学校に部活動が残り、両方に所属する生徒がでてくるのか。
- 学校は、子どもがどの地域クラブに行っているか把握することになるのか。
- 地域クラブで問題が起きた時、今後はそういったリスクマネジメントは、教育委員会・運営主体どちらに相談していくのか。

＜その他＞

- 子どもの視点で考えてほしい。
- 活動参加については、子どもの自由意志なのか。
- 植生の生徒については、山陽小野田より下関のクラブチームに通う方が早い。下関など市外の情報提供をしてほしい。
- 山陽小野田の対応は出遅れている。
- 宇部が手を早く打ったのが正解であったのではないか。
- 山陽小野田は取り掛かりが遅かったのに、他の事例の反省が反映されていないのではないか。
- 見通しのない見切り発車はやめてほしい。いきなり提示されても対応ができない。
- 山陽小野田はここまで遅れたのであれば、学校部活動を存続したらいいのではないか。
- 運営団体は何をしていくのか。どういう組織を作るのか。
- 活動に対して企業のサポートなど検討しているのか。
- オートレース等、市内企業からの協力金を得ることを検討しているのか。
- 他市町は、受益者負担・市負担・企業寄付金の3本柱でやっているの、そこについては考えてほしい。
- 市ごとに考えるということ自体が難しいのではないか。近隣市町と条件を合わせることも必要なのではないか。
- 市の特性として、下関、宇部がある。縦割りでなくそこを生かしてほしい。
- 休日の部活動を廃止するの「廃止」の意味がわからない。
- 次年度、保護者への説明を2回実施で、R8年から休日の活動廃止予定で、来年度も質問を受けるというスケジュール感で大丈夫か。
- 令和8年4月に休日の活動を廃止するには危険性がある。